

事業系一般廃棄物処理手数料を改定しました

東京23区では、「事業系ごみ」の減量やリサイクルを推進し、受益者負担の適正化を図るため、令和5年10月より事業系一般廃棄物処理手数料（消費税を含む）をそれまでの40円/kgから46円/kgに改定しました。これに伴い、許可業者と事業系一般廃棄物の収集・運搬・処分契約を結ぶ際の契約上限額も46円/kgに変更となりました。

紙類の分別を適正に行い、可燃ごみを減らすことで環境保全となるだけでなく、処理料金を抑えた経費の削減にもつながります。「ごみは高額・資源は安価」という認識のもと、資源の好循環サイクルを構築していただくよう、よろしくお願いいたします。

埋立処分場はもう作れません

事業所からの可燃ごみは清掃工場で焼却され、その焼却灰は、東京港内最後の埋立処分場といわれる「新海面処分場」に埋め立てられています。

この貴重な処分場を1日でも長く使用していくために、事業者の皆様のご理解とご協力により、ごみ減量とリサイクル推進に継続的に取り組んでいくことが重要です。



2006年→



2023年→

東京都環境局©

ごみの減量・リサイクルの推進にご協力をお願いします。



発行番号 2023181-5651

編集・発行：港区環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所

〒108-0075 港区港南 3-9-59 TEL：03-3450-8025

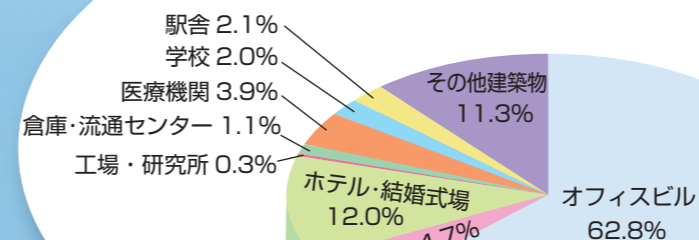
令和6(2024)年3月発行

港区

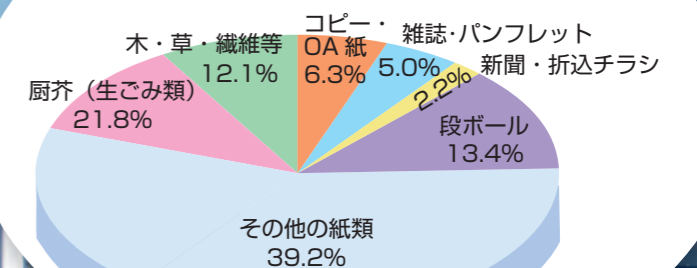
令和5年度版（令和4年度実績集計）

事業用大規模建築物 データファイル

建築物用途別発生量構成比 (3000㎡以上)



種類別発生量構成比 (3000㎡以上)



東京23区の中でも特に事業所の多い港区では、区内で排出されるごみの多くが事業系ごみであり、港区のごみ問題を考えるとき、事業系ごみの減量と資源の再利用の取組は、重要な課題です。

このデータファイルは、港区内の事業用大規模建築物（事業用途に供する床面積が1,000㎡以上）の所有者の皆様（廃棄物管理責任者）からご提出いただきました「再利用計画書」をもとに、事業系一般廃棄物について、データを集計し、作成したものです。

今後の更なるごみ減量・リサイクル推進に向けて、自らの「再利用計画書」と比較し取組の参考としてご活用いただければ幸いです。

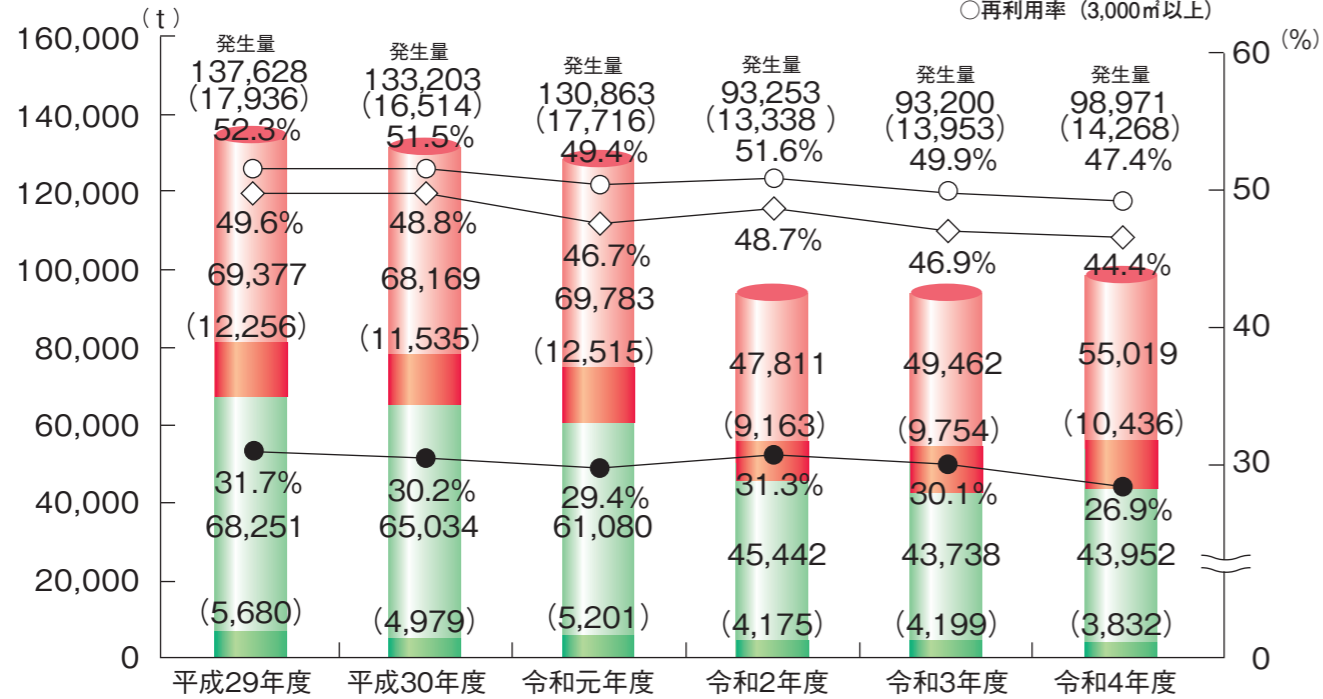
それでは、令和4年度の港区における
事業系一般廃棄物の現状を見てみましょう。



港区リサイクルキャラクター エコル

■ 廃棄量 (t)
■ 再利用率 (t)
() 内は1,000㎡～3,000㎡未満
◇ 再利用率 (全体)
● 再利用率 (1,000㎡～3,000㎡未満)
○ 再利用率 (3,000㎡以上)

1 発生量・再利用率の推移



令和4年度の資源・ごみの発生量は、テレワークの推進等により、コロナ禍前より減少していますが、令和2・3年度と比較すると増加しており、また再利用率は低下しました。

限りある資源を有効活用するため、ごみ発生量の抑制に努めるとともに、適正な分別の実施により再利用率を高めていきましょう。

※上のグラフのみ1000㎡以上3000㎡未満の建築物からの発生量等も合計し、その分を再掲しています。



2 種類別発生量・再利用率前年度比較

資源・ごみの種類	令和3年度				令和4年度			
	発生量(t)	発生量増減(t)	再利用率(t)	再利用率(%)	発生量(t)	発生量増減(t)	再利用率(t)	再利用率(%)
コピー・OA紙	6,038	-136	5,836	96.7%	5,338	-700	5,115	95.8%
雑誌・パンフレット	4,586	-513	4,568	99.6%	4,231	-355	4,216	99.6%
新聞・折込チラシ	2,067	-35	2,060	99.7%	1,894	-173	1,883	99.4%
段ボール	10,484	380	10,464	99.8%	11,317	833	11,281	99.7%
その他の紙類	31,164	-34	10,207	32.8%	33,196	2,032	9,991	30.1%
厨芥(生ごみ類)	16,353	-27	1,995	12.2%	18,442	2,089	2,595	14.1%
その他の可燃物	8,556	-302	4,410	51.5%	10,286	1,730	5,040	49.0%
一般廃棄物計	79,247	-668	39,539	49.9%	84,703	5,456	40,120	47.4%

※この表以降のデータは3,000㎡以上を集計しています。

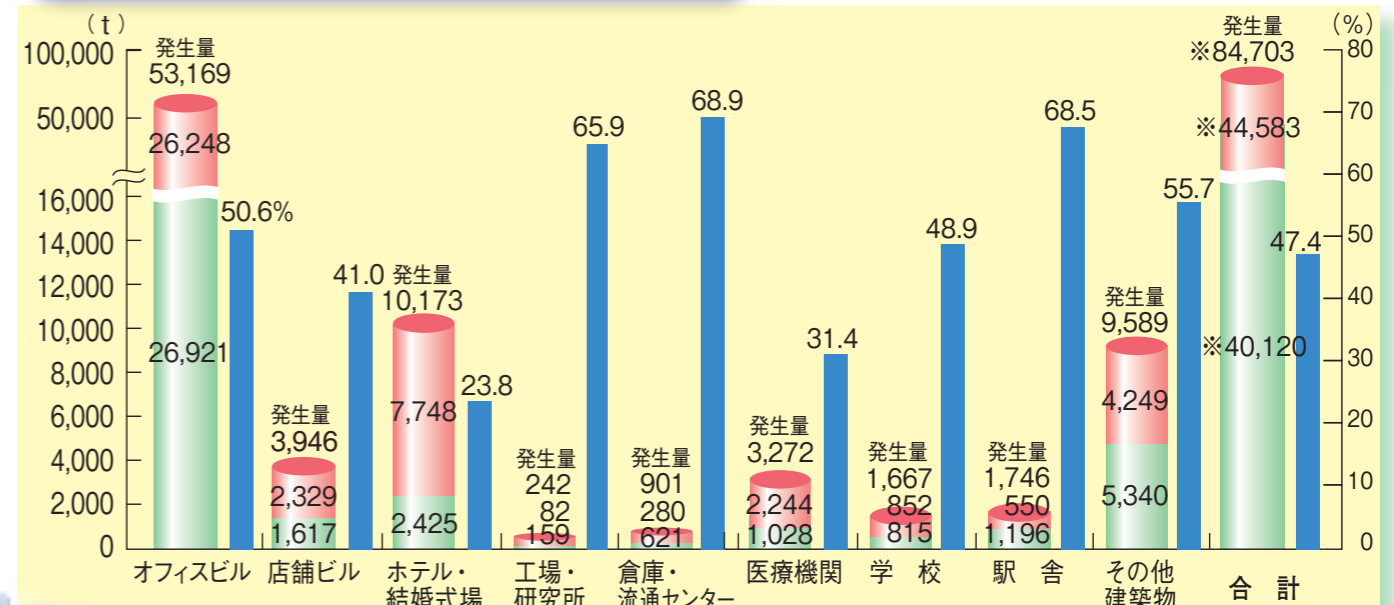
3 建築物用途別ごみ発生状況

建築物の用途	件数	発生量(t)	発生量内訳(t)		前年度(t)	増減(t)	再利用率(t)	再利用率(%)
			紙類	厨芥				
オフィスビル	815	53,169	41,266	11,129	41,634	-368	25,382	61.5%
店舗ビル(※1)	22	3,946	紙類	2,299	1,901	398	1,140	49.6%
			厨芥	1,174	1,109	65	30	2.6%
			木・草等	473	384	89	447	94.5%
ホテル・結婚式場	70	10,173	紙類	5,118	3,752	1,366	1,812	35.4%
			厨芥	3,976	3,477	499	613	15.4%
			木・草等	1,079	399	680	0	0.0%
工場・研究所	5	242	紙類	162	171	-9	159	98.4%
			厨芥	20	20	0	0	0.0%
			木・草等	60	63	-3	0	0.0%
倉庫・流通センター	25	901	紙類	818	861	-43	601	73.5%
			厨芥	45	42	3	4	7.9%
			木・草等	39	41	-2	16	41.0%
医療機関	13	3,272	紙類	2,270	2,229	41	878	38.7%
			厨芥	492	502	-10	10	2.0%
			木・草等	510	117	393	140	27.5%
学校	53	1,667	紙類	1,216	1,140	76	788	64.8%
			厨芥	332	294	38	20	6.1%
			木・草等	119	109	10	7	5.6%
駅舎	37	1,746	紙類	1,227	1,118	109	882	71.9%
			厨芥	518	555	-37	314	60.5%
			木・草等	0	0	0	0	0.0%
その他建築物(※2)	81	9,589	紙類	1,600	1,532	68	844	52.7%
			厨芥	756	587	169	76	10.0%
			木・草等	7,233	6,966	267	4,420	61.1%
合計	1,121	84,703	84,703	79,247	5,456	40,120	47.4%	

※1 店舗ビルとは、飲食店など店舗の割合が過半数を占める建築物

※2 その他建築物とは、寺院、図書館、劇場、美術館、博物館等

4 建築物用途別再利用率



建築物用途別に再利用率に特徴があります。
それぞれの状況を踏まえて、あきらめずにできるところから、
ごみの減量と資源の再利用率の向上を目指しましょう。

※このデータファイル上の数値は、端数処理のため、合計とは一致しない場合があります。